会社概要

社　　名	株式会社 翔泳社
所 在 地	〒160-0006 東京都新宿区舟町5
電　　話	03-5362-3800(大代表)
F A X	03-5362-3845
設　　立	2006年10月
創　　業	1985年12月
資 本 金	5,000万円
代 表 者	代表取締役社長 臼井 かおる
U R L	https://www.shoeisha.co.jp/

出版だけ、じゃない出版社。

SE SHOEISHA 株式会社 翔泳社
Corporate Profile

出版だけ
じゃないって、
どういうこと?

出版事業で培ってきたノウハウを活かし、

Webマガジンでの発信、イベント・セミナー、

ラーニングの4つのメディアで事業展開する

“コンテンツカンパニー”です。

専門性の高い情報を、伝わりやすいカタチで。

4つのメディア

1 出版

テクノロジーをはじめ、教育、デザイン、ビジネスの4テーマを中心とした多彩なコンテンツを、書籍・電子書籍・PODなど読者に最適な媒体を通じて出版しています。

2 Web

IT、システム開発、ネットマーケティング、EC、事業開発など各専門分野の次世代へ向けたWebメディアを立ち上げ、ネットを使った幅広い情報提供をしています。

3 イベント・セミナー

10年以上続く日本最大級のIT開発者向けコンファレンスから、最新のマーケティング戦略まで、いま注目されている分野のイベント、セミナーを多数開催しています。

4 ラーニング

書籍コンテンツ制作で培ってきたノウハウを活かし、アプリ提供や特別講座など、学習効率の高いラーニング・ビジネスを展開しています。

どんなテーマが得意なの？

テクノロジーをはじめ、資格などの教育分野からビジネスやデザインまで、幅広いテーマにまつわるコンテンツを独自の方法で提供しています。

時代が求めるテーマを、どこよりも深掘りする。

5つのテーマ

1 テクノロジー

モビリティ、クラウド、ネットワーク、セキュリティ、データベース、プログラミング等、情報社会を支えるコアテクノロジーに関するコンテンツとともに、ヒューマンスキルやコミュニケーションスキル等、開発プロジェクトのマネジメントに必要とされる最新のコンテンツを提供します。

2 エデュケーション

ITベンダーや公的機関が主催するアプリケーション操作レベルから高度な開発運用スキルに至る技術系資格を中軸に、金融、法律、福祉等の一般資格までの幅広い試験対策情報を提供します。あわせて、ビジネススキル向上、キャリアアップ支援のためのさまざまなコンテンツも提供しています。

3 パーソナルコンピューティング & デザイン

生活者がより充実したデジタルライフを送るためのコンテンツをベースに、急速に普及が進むソーシャル サービス、スマートフォン、タブレット等を活用するための最新のコンテンツを提供します。あわせて、Webデザイン、DTP、CG等の入門者からプロフェッショナルに至るまで、最適なコンテンツも提供しています。

4 ビジネス & カルチャー

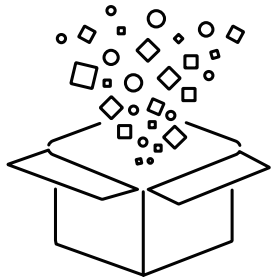
マネジメント、マーケティング、ファイナンスといったテーマを中軸に、ビジネスマンの日々のスキル&キャリアアップを支援する最新のノウハウから、ボーダレス化が加速的に進む現代のビジネスニーズに応える"真に役に立つ"コンテンツまで提供します。

5 Eコマース

SEshop.comは、プログラマやエンジニア向けの専門性の高いIT技術書や、最新の業界動向をとらえたマーケティング関連などのビジネス書、IT系試験や福祉資格の対策書、ライフスタイル関連書などの自社書籍の販売をはじめ、各種セミナーやサブスクリプションなど多彩なサービスを提供する翔泳社直営のECサイトです。

Mission

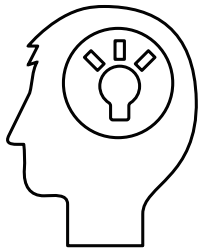
コンテンツで
人と社会の可能性を
拡げる



人と社会により良い変化を起こすような、役に立つコンテンツを創造することを通して、世の中に貢献していくことが我々の使命です。

Vision

誰もが活躍できる未来を
切り拓くコンテンツ
カンパニー



深掘りした情報を、オリジナリティのある方法で、誰にでもわかりやすく提供できることが我々の強みです。どのような時代にあっても社会から必要とされる組織として、競争力のある力強いコンテンツを創り続ける会社を我々は目指します。

Values

貢献

人や社会から信頼される仕事をする

我々はいついかなる時でも、人々や社会から信頼され、喜ばれるような、真摯かつ丁寧な仕事を通して世の中に貢献していきます。

成長

共に向上するための摩擦を恐れない

社会や組織にとって価値のある事であれば、対立や批判を超えて忌憚なく議論し、お互いに切磋琢磨していきます。

進化

現状に満足せず、自分の世界を拡げる

既成概念や過去の実績に安住せず、絶えず新しい領域に果敢に取り組み、自分の限界を拡げ成長していきます。

協調

個人はチームのために、チームは個人のために

決して自己中心的、利己的にならず、共に働く人々を大事にし、ひいては社会全体にまで視野を拡げた上での提案や行動をしていきます。

自覚

当事者意識を持ち、自律的に行動する

何事においても、受身でただ待つのではなく、まず自らが行動し、周囲を巻き込みながら、人々に良い影響を与えていきます。

SE
SHOEISHA